



二松学舎大学

父母会報

平成5年5月10日創刊
令和2年3月31日発行
(第108号)

二松学舎大学父母会
(本部・事務局)

東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学学生支援課

題字は
故 観山貞広常吉先生書



卒業を祝す

父母会長 中澤 稔



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、ご子息、ご息女のご卒業、誠にめでとございます。

卒業生の皆様、歴史と伝統を誇る二松学舎大学での学生生活はいかがでしたか。

学位を取得し、無事卒業できましたことは、皆様の学びの努力の賜物です。そして、それを支えてくださった保護者、教職員の方々のご尽力があったからだと思います。周囲のお世話になった方々への感謝は、これから社会へと巣立つ皆様が最も忘れてはならないことではないでしょうか。

皆様の在学中は、天皇陛下の御即位、自然災害、スポーツ界での輝かしい成果など様々な時事がありました。

た。その度にその事象について考える機会を与えられた様な気が致します。

学び舎で培った「道徳心」を基に、自分で考え、判断し行動。各分野で活躍できる人材育成」の建学の精神を思い起こし急速な国際化、高度情報化の時代での活躍をお祈り致します。

併せて、常に学ぶ姿勢を忘れないでください。ある高名な方が「教養はいつか役に立つ」と述べておりました。

皆様は、卒業と同時に松苓会(同窓会) 会員です。二松学舎で学んだ人々の中で近年注目の人物として、日本オリンピックの父と呼ばれる嘉納治五郎がおり、また、第三代舎長であり日本資本主義の父と呼ばれる来春の大河ドラマの主人公である渋沢栄一は、二松学舎大学に深く係わりのある人物です。

父母会もワンチームで事業に取り組んでおりますが、今年度の卒業パーティーが行えなかったことに対しては、代替の措置を取らせていただきましたことをご了承いただきたいと思っております。

父母会の皆様には、日頃から父母会運営に格別のご支援、ご協力を賜りまして改めて厚く御礼申し上げます。これまで滞りなく運営できましたことに対し、役員一同感謝の気持ちで一杯です。

結びに卒業生、父母会、教職員の皆様の益々のご多幸、ご健勝と二松学舎大学のご発展を心からお祈り申し上げます。

日々新たな気持ちで生活を！

理事長 水戸英則



た生活が始まります。

さて我が国は、一〇〇年に一度の大変革期、Society 5.0時代を迎えようとしています。AIやビッグデータの技術が進み、人間の行う仕事がAIに変わっていく

あり、将来に不安を感じるのも無理ないところでは。一方、我が国は人口大減少時代に突入、新技術で労働力の不足を補う必要があります。AIはその期待を担う技術です。またAI化するための新たな仕事も生まれるでしょう。その影響はプラス・マイナス両面がありますが、これからの新時代を切り開いていくのは間違いなく皆さんなのです。変化の激しい社会へ出ていく皆さんに参考になることを、二点申し上げておきます。

第一点は、仕事や研究に当たり、変化を受け入れ、日々新たな気持ちで仕事をしていくことです。毎日の仕事は、同じ繰り返しではない。昨日より一歩でも進んだ形、「日々是新」という気持ちで、仕事や研究をしていくことが、変革期にある我が国社会の中での生き方ではないでしょうか。

二点目は、モラル、道徳心を持って、判断し、行動してほしいことです。全世界の情勢を見ると、一握りの富裕層が、世界の人口の半分の人のお金を握っているなど、大きな経済格差があり、その裏では貧困問題が生じています。また環境や自然を守ろうとしない経済活動の結果、環境破壊や地球温暖化が進み、洪

水・台風・森林火災など異常気象による被害拡大の原因となっています。環境や自然は我々に与えられた共通社会資本であり、我々の知恵で守り、解決していく必要があります。また我々一人一人が積極的な社会貢献を行うことを通じて、貧困や環境問題も解決され、持続可能な社会へと導いていくこととなります。人間相互の思いやりと我々人間が本来持っている義務を果たすべきモラル感を持ちながら社会生活を送っていただきたいと思えます。

以上二点を念頭において、日本や世界を、よりよい社会を実現する二松学舎大学卒業の有意な人材として活躍することを念願しております。

ご子息ご息女のご卒業を祝して

学長 江藤茂博



方、誠におめでとうございます。長い間育てられました。長一度ようやく社会に向けて自立した第一歩を歩まれるご子息ご息女の立派な姿に、皆様におかれましてはさぞ

かし感無量のことと存じます。あいに、卒業式の式典は今回中止となりましたが、その原因であるコロナウィルス拡散による私たちの危機は、まさにグローバル化社会そしてポータルレス社会であることからの危機でもあるわけです。非常に残念なことではあります。今回は卒業生たちと共に、社会が置かれている状況を踏まえ、グローバルな視点からの協力関係をいかに皆で作りに上げて

いかなければならないのか、真摯に自問する機会にしたいと思います。ご存知のことと思いますが、本学は明治期に漢学塾を出発とし、中国古典の研究を伝統とする学校です。また、第二次世界大戦前には、国漢の旧制専門学校として国語と漢文の中等学校教員を養成しておりました。戦後は、文学部のみを単科大学として、また国語国文学の教育研究における伝統校として、非常に個性的な学校でした。そうした伝統も流れているためか、真面目さが本学の卒業生への評価のひとつとなっています。さらに九〇年代に国際系社会科学系の学部を新設し、〇〇年代

より文学部も国際的な研究教育活動を展開してきております。卒業生たちには、大学が提供した、心の糧としての東アジアの古典の知、そして生きる力としての国際的かつ学際的な知力、それらを手にして自らの人生を切り開いて欲しいと思っております。卒業生たちの大きな活躍を、私たち教職員は願ひとして信じています。さて、卒業生諸君、ご父母並びに君たちの関係者の方々へのご挨拶として、この文章を書きました。それは、間接的に卒業生諸君に贈る言葉でもあるわけです。しっかりとご自分の人生を歩んでください。

不安定な現実の中に漕ぎ出すみなさんへ

文学部長 牧角悦子



今年の年
度末は、ま
るで世紀末
的な混乱の
中にありま
す。実態の
分からないものへの不安に、いま
我々は晒され、見通しの立たない今
後の展開に、暗い気持ちになる人も
多いことでしょう。誰も予想しなかつた今回の新型コロナウイルス

の騒ぎは、しかし歴史の記録を見れば、「疫病」という名前で時代の周期を持って繰り返されてきたものであることが分かります。また、科学的分析や実証的臨床治験は、今後ならんかの解決への糸口を提供してくれることでしょう。我々は今こそ、冷静に現実を受け止め、客観的に思考し、いかに行動すべきかを慎重に選択しなければなりません。大学でみなさんが学んだこと、そ

れは解の無い問いに対して、辛抱強く考え、考える中で解決に向うための知恵を身につけることだったのではないでしょうか。それは、自分の言葉で世界をとらえる術だとも言えるでしょう。いま、この尋常ならざる現実に直面して、自分の中に在るあらゆる知見と知恵と感覚を動員し、理性的に現実と向き合うことができるとすれば、それこそ人文学の智慧を修得したことの証となるでしょう。

への挑戦が大きく花開きますよう、祝福いたします。



国際政治経済学部長

中山政義

卒業生に贈る



卒業生の
皆さん、ご
卒業おめで
とうござい
ます。社会
人となる皆
さんに、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

国際社会は今、激動の時を迎えています。イギリスは自国に流入する移民への対応に苦慮しながらEU離

脱の道を選び、アメリカでは国際社会のリーダーとしての立場に拘らないトランプ政権が、自国第一主義の政策を推し進めています。このような国際社会の動向は、いやおうなしに日本社会に影響を与え、政治的・経済的問題が山積しています。皆さんは、新たな活動の中で、変化に戸惑い不安になることもあるでしょう。その時には、二松学舎大学での学びを思い出し、自信を持って行動

して下さい。皆さんは、政治や経済の動向を見抜く力や、客観的に物事を判断する力を四年間の学びの中で会得しています。どのような環境下で活動しても、蓄えた知識を活かせるし、鍛えた論理的思考力と発言力を発揮できるはずですよ。

また一方で、人口減少期の日本は、外国人を迎えて多様な文化を包含する社会となり、AIやロボットは労働環境を根本から変えます。便利な世の中へと変わる中で、新たな環境に順応した活躍を期待されます。多くの職種が消えるとも言われますが、歴史を振り返ると、産業革命でも予想に反して人手不足になり

文学部

国文学科・中国文学科の先生方から
饒の言葉を頂きました。

積善乃

余慶

大藏喜彦郎

其始は師の教へにつきて、後々は
独学でなければ

(上田秋成「胆大小心録」)

長島 弘明

皆さんは本当に真摯な努力を続けられました。
それが社会でこれだけ大きな実りになると
考えます。

社会をリードする人になろう下さい。
期待して下さいます。

盛沢一平

卒業おめでとう。

これから本当の学習の始まり
です。

良い人生を。

足立元

年々有餘

王宝平

逆境もチャンスに交える。

このかた王です。

学びあつての人生

林謙太郎

楽しい人生と！

小山 聡子

制限時間は解き用紙は、株点基準は、
すべて「あなたのため」の人生。
よいはじめ!! (野田洋次郎「正解も」
ここから本番です。

島田泰子

樂せず、楽しい人生を

送って下さい。

松本健太郎

日日是好日

張佩茹

それはもはや別の物語り、

新しい別の物語りでなければ

ならない。(大西巨人「神聖喜劇」)

山口直孝

能を学んだ皆さん

皆さんは能に籠められた日本の文化の
根幹を知りました。それを誇り、けれ
ど驕らず、この先の長い日々を送って下
さい。有難う

中所宜夫

皆さんが誇れる母校であり続ける
ために尽力して参ります。
またお会いしましょう。

五月女肇志

超越論的探求の特徴は、ここでやめたいと
思うところでやめるわけにはいかぬというところ
にある(ドナルズ「マジックホリッド」)。清龍田浩

士」

何の為に何を以て人生を送るのか、考
えて、充実した一生を送る下さし

町泉寿郎

永寿禍福

原東亮

正而徳

高澤浩一

誠実な毎日

砥水倫

祝大家前程似锦

戸内俊介

何も無いところに 光を見出す力の源は

下ったおとしかない。

(高藤陽道 宝箱。)

荒井裕樹

楽しい人生

何の人生でも

高橋佑太

「念ずれば花開く
失敗と書いてせいちう(成長)と読む」

(野村克也語録)

伊藤晋太郎

楽しい人生を

中川 桂

笑門来福

Way to go!
白井 雅彦

七転八起

中谷いずみ

錦節銜天使

牧角悦子

増田裕美子

卒業おめでとうございます！
新しい場での出会いに恵まれますように
どうぞお元気で。

改田明子

ハスか来る前に
周りを外へ見ておこう

森野

宗

純

ホームカミングデーには
小さな世界アを出します
見に来てくばい

山崎正伸

好きこそ

ものの

上手なわ

神村幸也

さあ、次の二期一会が

始まりまう

市来津由彦

国際政治経済学部

国際政治経済学科の先生方から
饒の言葉を頂きました。

ALL THE BEST
IN YOUR
NEXT STEP
IN A long
Journey
through life
I know you
will be a great
Success in
your future
ENDEAVORS!

ファルワ・AR

ご卒業おめでとうございます。

みなさんの活躍を心より

祈っております。

飯田幸裕

御卒業おめでとうございます。

つまらない世の中でも、

楽しく生きて下さい。

たのしみは

朝おきいでて昨日まで

無かりし花の咲ける見る時

加藤木綿美

ご卒業おめでとうございます

健康に気をつけて、がんばって下さい

高野和基

止まない雨は

ありません。

それでも困ったら

いつでも来て下さい。

白石まりも

御卒業おめでとうございます。

みなさんの新しい人生の門出を

心からお慶び申し上げます。

金子智香

ピンチをチャンスにホッとする
きっかけを見つけてください。

灯原田

時間を忘れて、ジョギングでもして身体
を鍛えりからお仕事がんばって下さい。

佐藤香

御卒業おめでとります。

ユーモア(笑)のセンスを

磨きましよう

押野洋

心からお祈りしております。

関次修子

ご卒業

おめでとります。

小久保 依哉

ご卒業おめでとうございます。

田場弓子

ご卒業おめでとうございます

お幸せに

本多峰子

社会あるところに

法あり

土屋 茂

ご卒業、おめでとります。

小具 龍史

清里の夜空を思い出して

山崎 隆一

ご卒業おめでとります。

夢中に没れるものを見つけ、

人生を楽しくして下さい。

手賀 裕輔

ご卒業

おめでとります。

若田 幸彦

自信を胸に進んで下さい。

中山政義

二〇一九年度 卒業式



二〇二〇年三月十六日(月) 中野サンプラザホールにおいて、二〇一九年度二松学舎大学学位記授与式(卒業式)を挙行する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、学位記授与式は中止となり、本学九段キャンパスで学位記の授与が行われました。

安全性に配慮する形で、国文学科は中国記念講堂、中国文学科は二〇一教室、国際政治経済学科は二〇二教室に分かれ、さらに学生番号順に数回に分かれて集合していただき、各学科の先生から学位記を授与しました。それぞれの学科の成績優秀者には、中洲賞として賞状と賞品が授与されました。

午後に開催予定の父母会主催の卒業パーティーも中止とさせていただきます。卒業生のみなさまには、記念品を送らせていただきます。

卒業生の皆さん、ぜひ自分の夢を大切にして粘り強く仕事に取り組み、社会人として活躍されることを願っております。





卒業おめでとう





卒業にあたり、新しい人生への希望に満ちた門出に胸ふくらませている学生三名に、四年間学んだ学生生活を振り返り、現在の心境及び感想等を語っていただきました。

『四年間の軌跡』



国文学科

中西 保乃花



大学生活四年間は瞬く間に過ぎ去り、ついに卒業を迎えました。一年生の時、眩しく輝く四年生を送り出してから四年。私はその立場になったのだと思うと、嬉しい半面不安も残ります。私もあの時の四年生のように、成長できているのかな、と。

二松学舎大学での日々は、小中高と今まで過ごしてきた学生生活に比べ、勉強面でも生活面でも、大変充実したものでした。高校時代の恩師に、「国語の教員を目指すなら二松学舎だ」と勧めて頂きましたが、本当にその通りで、国語をさまざまな方面から勉強できる環境が、ここにはありました。そこで、私が過ごした四年間の軌跡を、少し振り返って

みようと思います。

私が二松学舎大学に入学した一番の理由は、「国語の教師になる」という夢を叶えるためです。そのためにも、大学生活では新しいことに挑戦して、たくさん勉強する四年間にするという目標を立てていました。

まず、今まで経験のないことに挑戦したいと思った私は、未知の領域であった武道系の部活を見学しに行きました。そこで目に留まったのが合気道部です。一人暮らしという事もあり、護身術を身につけたいという理由で、入部を決めました。合気道の事は右も左もわかりませんでした。先輩の指導の下、同期の仲間たちと切磋琢磨して稽古を続けた

結果、初段をとることができました。合気道を通して、礼儀作法、武道の精神など今までの人生の中で味わうことのなかった経験ができ、大変勉強になりました。そして何より、どんな苦難にも共に立ち向かえる仲間に出会えたことが一番の財産です。

次に、勉強面です。国語の中でも、私は特に古典が好きで、大学ではもっと専門的に学びたいと思っていました。さまざまな分野の講義を受ける中で、多くの知識教養を身に着けることができました。お世話になった諸先生方に、この場を借りて感謝申し上げます。

部活で大事な仲間に出会えたように、勉強という面でも、私の人生に大きな影響を与える出会いがありました。それは、神田邦彦先生、磯水絵先生のもとで学ぶことができたことです。大学一年生の時、日本文学全史という講義で、神田邦彦先生に出会いました。神田先生は、一つひとつの文学作品を細かな部分まで解説されていて、毎時間新しい発見がある、面白い講義でした。その中でも、特に影響を受けた内容が、鴨長明の「秘曲尽くし事件」です。これは、長明が伝授されなければ演奏してはならない秘曲を演奏したことで起きた事件です。当時の人々が愛した音楽とは、一体どんなものだろう

う、と興味を持ち、ここで、私は初めて古典の中の音楽を意識するようになりました。そして、音楽研究の第一人者でおられる磯水絵先生のもとで学ぶ道を選択しました。

先生方の講義を受ける中で、自分の無知を実感しました。しかし、だからこそ、自ら調べ、知らないことを知る喜びを、国語を学ぶ楽しさを痛感しました。そして私は、国語を通して、学ぶことの楽しさを伝える教師になりたいと強く思うようになりました。漠然と教員を目指していた私が、自分の理想とする教師像を確立でき、改めて教員になりたいと思えたのは、お二人の先生方のもので、勉強に励むことができたからです。本当にありがとうございます。

振り返ってみれば、私の大学生活は、ともに苦難を乗り越えた多くの友人、諸先生方、支援していただいた二松学舎大学の関係者様との出会いによって充実させることができたと思います。また、どんなときも私を励まし、支えてくれた家族の存在があったからこそ、何事にも挫けず前を向いて自分のやり方を貫き、結果として教師になるという夢を叶えることができました。お世話になりました。四年間、本当にありがとうございました。

『古人とのコミュニケーション』



中国文学科

篠原 巧

二松学舎大学での学業を終えるに当たり名誉ある中洲賞を頂き光栄に思います。指導を頂いた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。四年間の道程を振り返る時、卒業生一人一人の心中には様々な思いが去来し、其々の苦労や喜びが想い起こされることでしょう。社会人学生として四年間を振り返り皆様への感謝と今後の思いを新たにしたいと思えます。

私は定年退職した四年前、二松学舎大学文学部中国文学科に入学しました。入学動機については次の様に日記に残しています。「今後、国際人として生きていく若い世代と一緒に、国と国を超え人と人を繋ぐ普遍的価値観とは何か？について学びたい」

この動機の背景には駐在員として体験した米国、仏国そして中国への思いがあります。欧米中国を回って

分かったことは、言葉や生活習慣そして文化は異なっても人の考え方の奥底にある人間の根本は変わらないということでした。国と国の壁を超えて人と人を繋ぐ普遍性があるとすれば、それは一体何だろうか？二松学舎大学で学び直したいと考えたのです。社会に出るとどうしても目先の利潤追求に追われます。先代の先輩諸氏が面々と継承して来た大事な価値観について社会人体験を振り返りつつ中国の思想書や歴史書に探りた、この様な思いを持って入学した二松学舎大学ですが、結果として期待を大きく超える成果を頂き、学ぶことの喜びを教えて貰いました。

私にとって大学での学びは会社員として身につけた思考の枠組みの外にありました。職場は国際通信の技術畑のため、文学部という学問領域は全くの未知の分野で毎日が新しいことの連続でした。当初こそ負い

とか戸惑いはありましたが徐々に新たな発見をする日々に変わりました。一年次、二年次は一般教養として必修科目中心の学びです。一般教養とは言っても中国の歴史は広大で深遠な世界です。講義で紹介された書籍や論文を図書館の地下二階で探すドキドキ感、本を見つけた時のワクワク感、古い友人と邂逅した様な喜びでした。二松学舎の図書館は未知の古人が残してくれた書籍の宝庫でした。その様な書籍を通じ数え切れない程の今は亡き古人と出会うことが出来ました。いつの間にか図書館は古人との密かなコミュニケーションの場となりました。図書資料は歴史そのもので古人と向かい合い知識を更新する貴重な空間となりました。

大学入学時、子供が発した一言を思い出します。「きつとお父さんは皆にイジメられるよ」、しかし子供のこの期待は見事にはずれました。二松学舎の学生は誰もが皆優しく一緒に多くのことを学ぶことが出来ました。何より私を年寄り扱いすることもなく仲間の一員としてくれました。ここに皆さんに感謝する次第です。

インターネットによる情報量は凄まじい勢いで増大が続いています。放送大学の来生新学長はこの様な情報量増加の中で知識の陳腐化が急激

に進んでいると指摘しています。医学界の知識を一例として医学知識の倍増する時間が一九五〇年代に五〇年かかったものが、二〇二〇年には僅か七十日で倍増されることを紹介しています。二松学舎で学ぶ知識は医学界の知識とは異なり必ずしも同等ではありません。そもそも数値化が困難な人間の本質を扱うものです。

しかし情報過多の世の中だからこそ変えてはならない真実があります。幾多の古人の知恵が集結した古典の中に潜む例えば利他の心の様な普遍性やこれを追求する学びこそ継続させなければいけないと思うのです。

「年年歳歳花相似歳歳年年人不同」この詩は、桜は昨年と変わらないのに人は歳を取っていく、という人の世の栄枯盛衰を悲しく歌います。私も今年で六十四歳になりました。白頭の翁の仲間入りです。肉体は衰え変化しても心だけは紅顔の美少年でありたいと思っています。



『大学生活を振り返って』



国際政治経済学科

小島 綾子

私にとって大学生活はまさしく「あつという間」でした。入学した頃は地元である岐阜を離れ、初めての都会に心躍りました。友人と東京を渡り歩き、アルバイトを始め、サークルに所属するなど、一週間はどいうして七日間しかないのだろうと疑問をもつほどに多忙で充実した毎日をご過ごしました。そして、よき人たちと出会い、本当に多くの経験をされた四年間でした。

そうした日々を送る四年間の中で、大きな節目となったことが三つあります。

一つ目は、二年次に政治と経済と法の結びつきが強いことを実感した時です。興味があったのは国際政治でしたが、例えば北朝鮮のミサイル問題や集団的自衛権は安全保障以外にも経済的影響を及ぼし法律があることで拘束力を生み出します。様々な観点から原因や結果を考察する力

が身に付き、包括的な社会のとらえ方を学びました。さらに先生の解説は面白く、「世界はこんな風になっていたのか!」と学びへの関心がより高まりました。

二つ目は、本学の英語特別プログラムの受講したことです。授業では少人数で英語を学ぶことができ、先生方は熱心に親身になって教えてくださいました。キャリアのアドバイザーや、セミナーのお手伝いをさせていただいた経験、何よりも授業がとても和気あいあいとしていて楽しかったことで、学業の部分で食欲にならなくなった。最後に英語で論文を書き上げた時には底知れない充足感を覚えましたね。

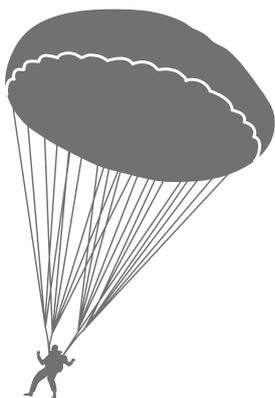
三つ目は、春休みを利用してオセアニア諸国を一人旅したことです。三週間少ない荷物で観に行った世界一の星空や氷河の洞窟、そして初めてのスカイダイビングと感動の大波

滞とはまさにこのことで、名所を巡ることに十五カ国以上の人と話し見聞を広め、自分がどこまでできるのかを試す絶好の機会となりました。特に感動したのは国を隔てない人の優しさです。旅途中スマホを落としたり、山で遭難しかけたりトラブルもありました。その折助けられつつ、道案内をするなど無力ながら誰かを助けられる機会があり嬉しく思いました。また、自分のもつ対応力やチャレンジ精神が身について、どんなことが起きてもあの時よりは大丈夫だと自信がつき、先の自分の糧となりました。

こうした大学生活の中でも思い出すと苦い気持ちになるような「失敗」の数々もまた、この大学生活で得られた最も価値のあるものの一つとしてこれから活かしていきたいです。私は、良き先生や友人と出会い尊敬し成功も失敗も吸収して邁進することができ、人間的に成長することができました。社会人としてこれから働くにあたり、この四年間の様々な経験があったからこそ、ソクラテスのいう「よく生きる」ということがわかった気がします。社会のためでもあり自分のためでもある、そんな生き方を軸に、自分のあり方と社会のかかわりをこれからも課題にして精一杯歩んでいきます。大学で出会った方々と多様な価値観を共

有できたことで視野が何倍も広がりました。私にとっての皆様が良き出会いであったように、皆様にとつての私もそうであったことを願わんばかりです。

最後になりましたが、こうして卒業を迎えられましたのも父母会の方々、教職員の方々、大学で支えてくださった関係者の皆様のおかげです。特に、私の受験から始まった奨学生選抜付入試で奨学生として受け入れてくださり、その後も特待生として四年間学費を免除していただけたことはありがたい気持ちでいっぱいです。また、大学で出会えた友人、お世話になった先生方、そしてなにより母亡き後、男手一つで兄弟とともにこうして社会人になるまで育ててくれた父には感謝してもしきれません。今年度は卒業式が非開催のため、この場を借りて心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



●卒業生は大学の財産です！

二〇一九年度卒業生のご父母の皆さま、おめでとうございます。『COVID-19』の関係で式典は中止になりましたが、卒業には変わりありません。あらためて心からお祝い申し上げます。

キャリアアセンターは、学生が選んだそれぞれの進路について、卒業後も成長し、活躍されることを、非常に期待しております。

大学にとって、卒業生は財産です。卒業生が活躍すること

で、企業の人事は「二松学舎大学の卒業生の活躍は素晴らしい。ぜひ後輩を採用したい」という気持ちになります。皆さんの活躍が大学の信用に繋がります、二松学舎大学の学生に期待し、積極的に採用する。そういった好循環が大学の歴史を築いてきたといっても過言ではありません。

皆さんは今も宝石の原石です。ご自身の将来のために自分を研磨し、光り輝く将来を手にしてください。

●卒業後も支援します！

卒業後におきましても就職・就労に関する相談を受け付けております。二松学舎大学は小規模な大学です。そのぶん、手厚いサポートが可能です。卒業して終わりではないのです。カウンセリングの予約も可能です。進路未定の方はぜひご相談ください。進路変更の報告や転職のご相談もお寄せください。

ア
リ
タ
リ
キ
セ
だ

58

ご父母からのご子女を応援・フォローしていただければと存じます。引き続き、よろしく願いいたします。

●就職活動、本番です！

三年次生（新四年生）の就職活動は、すでに佳境です。

就職活動は、学生が大きく成長する機会です。社会との接点を持ち、将来を考え、様々な試練を受けます。反面、悩んだり、困ったことに遭遇することもあります。

ご子女がセンシティブになる時期です。ご父母の皆さまにも、学生への温かいご支援をお願いいたします。

キャリアアセンターでは、履歴書の添削や模擬面接など具体的な就職支援を行なっています。併せて就職活動の悩みなどについてもカウンセリングを受け付けています。ぜひキャリアアセンターへの相談を促してください。キャリアアセンターは進路支援のプロフェッショナルです。

●今どきの就活は、ご父母のときと違います！

ご父母の皆さまのときの就職活動と今では、産業構造も変化し、情報ツールも多様化し、なにかも変わっております。ご父母の皆さまにも今の就職活動を知っていただき、どのような支援が適切なのかをご理解いただくために、新三年次生のご実家宛てに『就活サポートブック』を、お送りしております。ご一読いただければ幸いです。

二〇二〇年は、オリンピックの開催があり、なんとなくわくわくした気持ちで迎えました。ところが二月になり、新型コロナウイルスが蔓延し出してくると、世の中が少しずつ変わってきました。

二月下旬になりいろいろな事が分かってくるに従い、生活が一変しました。飛沫感染であることが分かって、街中からマスクが消えました。発症する前（潜伏期間）でも感染することから、通勤のリスクを避けるために自宅での仕事を推奨したため、大人も自宅にいるようになりました。高齢者の持病を持つている人が罹りやすく、重篤になりやすいと報道されていたのに、小学生がり患しました。政府が、全国の小・中学校高校を四月めどに、全て休校にしました。つまり、このウイルスについて、あまり分かっていないのです。感染のリスクを無くすために、卒業式や結婚式、送別会などが縮小・日程変更・中止を余儀なくされました。今後の行事などは、三月の動向にかかっています。

学 生 相 談 室

だ よ り 108

カウンセラー・教授 白石まりも

す。収束に向かつてほしいと切に願っています。四月、桜が咲き、希望に満ちた新入学・新学年を迎えるはずが、先が見通せていません。

それは、九年前の東日本大震災の時を思い出させます。当時も今も、「当たり前前に暮らせることの幸せ」を考えさせられました。大学生になる・ゼミに入る・一人暮らしを始める・バイトをする等、お子さんは四月からの生活を、どのように思い描いているのでしょうか。新しいという事は、知らないという事です。何をどうしたらよいかかわからないという事は、不安もありますが、良いストレスでもあります。大学は、お子さんたちの新生活をバックアップいたします。ご心配事や、様子の変化などが見えてきましたら、相談室への来室をお話しいただけたらと思います。親御さんからのご相談も受け付けております。お子さんの大学生活が、より良い時間となることを願っております。

人暮らしを始める・バイトをする等、お子さんは四月からの生活を、どのように思い描いているのでしょうか。新しいという事は、知らないという事です。何をどうしたらよいかかわからないという事は、不安もありますが、良いストレスでもあります。大学は、お子さんたちの新生活をバックアップいたします。ご心配事や、様子の変化などが見えてきましたら、相談室への来室をお話しいただけたらと思います。親御さんからのご相談も受け付けております。お子さんの大学生活が、より良い時間となることを願っております。

学生顕彰報告

● 団体

書道部

第104回書教展

団体優秀賞

バドミントン部

令和元年度千葉県学生バドミントン秋季選手権大会

女子団体Cリーグ 準優勝

● 個人

松浦桜香さん

第26回都留市ふれあい全国俳句大会 応募作品の部

高校生・大学生部門 大賞 (文部科学大臣賞)

高校生・大学生部門 長谷川權選

高校生・大学生部門 正賞

第19回心の花賞 正木ゆう子選

入選 依万智選者賞・田中拓也選者賞

藤田想さん

第1回月鯨杯東京落語大戦 優勝

広瀬杯学生落語選抜大会 準優勝

Shinjuoka 第17回全日本学生落語選手権策伝大賞

審査員特別賞 (準グランプリ) 浦島慧至さん

第7回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール

葛飾柴又寅さん記念館賞

伊藤百映さん

第7回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール

審査委員長賞

第104回書教展

全日本書道教育協会賞

第71回毎日書道展 U23

入選

勝亦真子さん

第71回毎日書道展 U23

近代詩文書 新鋭賞

茅原優さん

第36回読書法展

入選

河原隼人さん

第7回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール

中国大使館文化部賞

菊池由乃さん

第71回毎日書道展 U23

漢字部I類 毎日賞

澤田真理奈さん

第104回書教展

審査委員長賞

下川創騎さん

第68回独立書展

準特選

杉森円香さん

第104回書教展

二松学舎大学学長賞

千葉初音さん

第7回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール

庭山真有さん

第7回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール

全日本書道連盟賞

第49回秦野市展書道の部 秀作

堀内郁奈さん

第7回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール

葛飾区長賞

山口真由さん

第71回全日本学生清書コンクール

推薦特別賞

長谷川真子さん

第104回書教展

中国大使館賞

第36回読書法展

入選

三本木かや乃さん

第71回全日本学生清書コンクール

内閣総理大臣賞

守口晏南さん

第104回書教展 文部科学大臣賞

第7回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール 二松学舎大学学長賞

小林真歩さん

第4回臨書展

大賞 (最高賞)

菊池梨緒さん

第104回書教展

審査委員長賞

小林加奈さん

第104回書教展

読売新聞社賞

第7回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクール

読売新聞社賞

柴田ひよりさん

第104回書教展

審査委員長賞

須藤陽恵さん

第43回全国学生書写書道展 席書の部

第35回全国硬筆コンクール

学年優勝杯

特別名誉大賞

竹下結菜さん

第104回書教展

全日本書道連盟賞

金子星那さん

第8回佐久全国臨書展 一般部漢字 秀作

齋地菜月さん

第104回書教展

審査委員長賞

久米謙吾さん

第1回テックボール JAPAN CUP 2019 日本第3位

川久保昌宗さん

令和元年度東都大学軟式野球秋季リーグ戦 ベストナイン (左翼手)

関根康太さん

令和元年度東都大学軟式野球秋季リーグ戦 首位打者、ベストナイン (遊撃手)

及川慎太郎さん

令和元年度東都大学軟式野球春季リーグ戦

最多本塁打

郡司和斗さん

第62回短歌研究社新人賞

第62回短歌研究社新人賞

中島笙太さん

第31回全日本テコンドー選手権大会 優勝 (男子有段の部)

準優勝 (有段男子マッソギ+71kg)

宮本日菜子さん

令和元年度千葉県学生バドミントン秋季選手権大会

優勝 (女子シングルスB)

準優勝 (女子ダブルスB)

安松 里菜さん

令和元年度千葉県学生バドミントン秋季選手権大会

準優勝 (女子ダブルスB)

安松 里菜さん

令和元年度千葉県学生バドミントン秋季選手権大会

準優勝 (女子ダブルスB)

課外活動団体助成報告

書道部

第53回二松学舎大学書道部学外展 会場借用費助成

劇団こんにちはシアター

劇団こんにちはシアター 冬公演 2019 会場借用費助成

落語研究会

「みてくれ寄席」 会場借用費助成

／第17回全日本学生落語選手権 「策伝大賞」 出場



2020年度二松学舎大学日程表

年	月	日	月	日	日 程	年	月	日	月	日	日 程		
2020年	3	30	~	4	4	ガイダンス期間 (5日間)	2020年	10	10		創立記念日 (授業実施)		
	4	1				入学式		10	20			後期授業料納入期限	
	4	6				春セメスター授業開始		10	31			学園祭準備 (休講)	
	4	20				前期授業料納入期限		11	1	~	11	2	学園祭
	4	29				(振替休日): 授業実施		11	23				(勤労感謝の日): 授業実施
	5	4	~	5	6	(振替休日): 授業実施		12	17		12	21	試験期間(定期試験期間を含み18日間)
	5	23				父母会定期総会		12	23		12	24	全額休講
	6	21				文化祭 (九段)		12	24	~	1	7	冬期休業期間
	7	6	~	7	23	試験期間 (定期試験期間を含み16日間)		2021年	1	8			授業再開
	7	18				授業期間終了			1	15	~	1	16
	7	23				海の日 (授業実施)	1		23				授業期間終了
	7	24	~	9	13	夏期休業期間 (52日間)	2		5				卒業研究面接試験 (国際政経)
	8	20	~	8	21	追試験	2		8	~	2	9	卒業論文面接試験 (文)
	9	9	~	9	11	ゼミ合宿期間	2		12	~	2	13	追試験
	9	14				秋セメスター授業開始	3		上旬				卒業生発表
	9	21				(敬老の日): 授業実施	3		上旬				進級生発表
9	26				春セメスター学位記授与式	3	16					学位記授与式 (卒業式)	

※新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大している状況を踏まえ、当初予定していたガイダンスや授業開始時期等の学事に関する日程も繰り下げて実施いたします。詳細については本学ホームページ等でご確認下さい。

学生支援課から

父母会報一〇六号(二〇一九年十月二〇日発行)でも、お知らせいたしました。二〇二〇年四月から新たな給付奨学金制度が始まります。昨年十一月から十二月十八日の申請期間に多くの学生に申し込みたいと考えておりますが、令和二年四月在学採用の申込が始まります。令和元年度に実施した予約採用(進学前)や在学予約採用(在学中)で申し込めなかった方は申込を行ってください。

また、九月以降に令和二年度二回目の在学採用を実施する予定です。この場合、令和二年六月に確定した市町村民税に基づき家計の経済状況に関する基準を満たすかの判定を行います。したがって、それまで要件を満たしていたかた方でも、支援の対象となる可能性があります。(支援は十月分から開始します。)

この制度は、これまでの給付奨学金に比べて、対象者の範囲と支給額が拡充します。また、併せて授業料減免の対象になるため、給付奨学金と合計した支援額は大幅に増額されます。

詳細については、文部科学省特設ホームページ・日本学生支援機構 進学資金シミュレーターをご覧ください。

申込手続き等についてのお問い合わせは学生支援課まで。

文部科学省
特設ホームページ



日本学生支援機構
進学資金
シミュレーター



お知らせ

二〇二〇年度 父母会定期総会について

左記の日程により、二〇二〇年度二松学舎大学父母会定期総会を開催いたします。当日は、講演会を予定しております。

日時・二〇二〇年五月二十三日(土)
場所・二松学舎大学九段キャンパス
一号館

内容・二〇一九年度事業報告並びに
決算

・二〇二〇年度事業計画並びに
予算

新二年次生〜新四年次生の会員の皆様には、二〇二〇年度定期総会のご案内と出欠票(委任状)をこの父母会報第一〇八号に同封しておりますので、ご確認願います。

また、準備の都合上、ご出欠を同封の出欠票(委任状)で四月三〇日(木)までにお知らせください。

定期総会資料につきましては、五月中旬に郵送にてお届けします。

二〇二〇年度 地区別父母懇談会について

父母会事業計画の一環として、毎年地区別父母懇談会を開催しています。

二〇二〇年度の開催地は、香川県・鹿児島県・茨城県・青森県・島根県・新潟県・秋田県・東京都の八会場を予定しています。(日程は左の表をご確認ください)。

この地区別父母懇談会は、大学の現況、履修の状況、学生生活の状況、就職活動の支援等についての説明があります。

全体説明終了後、個別相談を行っています。大学への質問およびご意見・お要望などを大学関係者に直接話が出来る機会です。この機会をぜひご利用ください。

フリー参加形式としておられますが、会員の皆様に改めて事務局より開催案内をお送りし、出欠の確認をお取りします。万障お繰り合わせの上、ご参加願います。

2020年度 地区別父母懇談会日程表

開催日	開催地区
5月30日(土)	香川県(高松市)
6月6日(土)	鹿児島県(鹿児島市)
6月6日(土)	茨城県(水戸市)
6月21日(日)	青森県(青森市)
6月27日(土)	島根県(松江市)
6月28日(土)	新潟県(新潟市)
7月11日(土)	秋田県(秋田市)
7月19日(日)	東京都(本学九段キャンパス)

編集後記

日射しが暖かになり、目の前に迫る新年度に期待や不安がいつぱい。そんな当たり前の春が、今年もは当たり前ではなくなってしまうました。

年号が変わって初めてのお正月。そしていよいよ東京オリンピック。いつもに増して明るいムードで迎えたはずの新年でした。

それからわずか一ヶ月。街からマスクが消え、除菌・消毒と名の付く製品が消えました。予定していた旅行をキャンセルした方も多いのではないのでしょうか。外出さえままならない毎日。

そんな中で、卒業を迎える皆さん。卒業パーティーのみならず、卒業式さえ行えないのは、とても残念なことですが、二松で過ごした日々の価値に変わりはありません。

社会人として一步を踏み出す人。更に学問を追求する人。夢を追いかける人。そして、進級する人ともう一年頑張る人も。

私たち父母会は、そんな皆さんを心から、全力で応援しています。一年間ありがとうございました。また新たな一年に向けて、役員一同力を合わせてまいります。どうぞ、よろしくお願致します。